

1. 2022 年度報告

(1) 入試関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 1 関連)

－ 2022 年度を見据えた各学部・研究科における入試制度改革の実施状況 －

① 広報・学生募集活動推進

本年度は、オンライン形式の学校説明会を継続しつつ、対面企画中心の説明会の実施や HP における入試関連コンテンツの充実を着実にいった。本年は昨年の実績の分析・フィードバックを行い、ダブルスクール生の獲得拡大に向けた学内（人間科学部・国際教養・教育学部）での個別説明会の実施や両高等学院でのオンライン説明会を実現することができた。

② 入試制度改革

本年度入学者の分析を行い、秋入試が志願者にとって関係箇所との調整等の入学準備期間の確保に有効であることがわかり、秋入試に焦点を当てた学校説明会の早期実施等の対策を講じ、志願者の増加に繋げることができた。一般入試入学者推移 = 2021 年度入学 52 名、2022 年度入学 57 名、2023 年度入学 64 名

③ ブランディング

早稲田大学の専門学校であることによる、他の専門学校にはないブランド力をより強化すべく、建築関連団体（JIA、JCD 等）との連携体制を維持しつつ、著名歴史家と建築家による建築講演会（今年度は対面による企画を実現）や学外展示をより公開性の高い会場（約 1100 人／3 日）に移し実施でき、芸術学校の認知度向上を着実に実現できた。

(2) 教育関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 2、3、4 関連)

－ グローバルリーダー育成にむけた、各学術院・学院・学校における取り組み状況 －

① カリキュラム「ASSEMBLE」の新たな展開と着実な運用

カリキュラムポリシーである「ASSEMBLE（アSEMBル＝多様な領域を集合して組み立てる）」の新たな展開として掲げた「テクノロジーデザイン戦略＝芸術・技術・理論の融合」に基づき、9 つの教育テーマに付帯する技術テーマを連動させたカリキュラムを維持しつつ、新たな時代のニーズに沿ったコンテンツ（環境・IT 分野）の拡充を図れた。今年度は、伝統木造の講座開設や招聘講師制度の運用開始によるコンテンツの補強を実現出来た。運営面では対面授業中心の戻しつつ、社会人学生に利益あるオンライン授業（海外著名講師による授業等）を検討し実現できた。

(3) 研究関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 7、9 関連)

－ 研究の国際展開のための戦略策定に向けた取り組み状況 －

(記載なし)

(4) 国際関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 8 関連)

－ 派遣留学、留学受入促進に向けた環境整備への取り組み状況等 －

(記載なし)

(5) その他

－ (1) ～ (4) に該当しない、各学術院・学院・学校独自の戦略・プロジェクト等－

①将来計画の新たな検討

2019 年度に中長期計画検討上の 3 つの重要項目、「入試広報の充実（人材確保）」「高度なカリキュラム実現」「国際化・グローバル化」を策定し、計画の推進を図ってきた。本年度は、昨年度構築した中長期計画の検討に際しては理工学術院執行部も含めた WG を運営し、具体的将来計画（組織体制の再構築、運営の効率化等）の立案検討作業を進めることができた。本年 3 月退職の専任教員後任を確保でき、将来計画への礎を構築した。

②教育内容の拡充のための創造理工学部建築学科・同研究科建築学専攻との連携強化

学部との授業相互提供制度および大学院への推薦制度の活用を継続、情報提供強化を積極的に行い、芸術学校出身の 6 名（卒業生の社会人入試を含む）が創造理工学部建築学研究科への入学を実現した。また、他専門学校にはないこれらのメリットを生かす機会を増やすため、このような学術院との連携に新たな制度（編入制度等）を加えるべく検討を継続した。

2. 2023年度計画

(1) 入試関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 1 関連)

－2023年度を見据えた各学部・研究科における入試制度改革の実施計画－

① 広報・学生募集活動推進

昨年は、対面企画併用の学校説明会の拡充や HP における入試関連コンテンツの充実を図った。本年は昨年の実績を分析・フィードバックを行い更なる改善を行うとともに、ダブルスクール生の獲得に向けた、学内（他学部での個別説明会の拡充）や学外（有力高校の訪問等）を引き続き推進する。

② 入試制度の改革

昨年度入学者の分析を行い、多様化する志願者ニーズの把握の精度を上げていき、更なる入試制度改革を検討・実施する。また、運用面では出願日程の最適化も検討し、出願者増につなげたい。

③ ブランディングの強化

早稲田大学の専門学校であることによる、他の専門学校にはないブランド力をより強化すべく、建築関連団体等との連携体制を維持しつつ、著名建築家等による建築講演会や学外展示を積極的に実施し、広報戦略とも連携させ、芸術学校の認知度向上を推進する。

(2) 教育関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 2、3、4 関連)

－グローバルリーダー育成にむけた、各学術院・学院・学校における取り組み計画－

① カリキュラム「ASSEMBLE」の新たな展開と着実な運用

多様化する志願者のニーズに対応し、カリキュラムポリシーである「ASSEMBLE（アセンブル＝多様な領域を集合して組み立てる）」の新たな展開として掲げた「テクノロジーデザインストラテジー＝芸術・技術・理論の融合」に基づき、9つの教育テーマに付帯する技術テーマを連動させたカリキュラムを維持しつつ、新たな時代のニーズに沿ったコンテンツ（環境・IT分野）の拡充を引き続き図る。また、運営面では対面授業中心に戻しつつ、社会人学生に利益あるオンライン授業の有り方やオンデマンドコンテンツの利用方法を検討し、実現を目指す。

(3) 研究関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 7、9 関連)

－研究の国際展開のための戦略策定に向けた取り組み計画－

(記載なし)

(4) 国際関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 8 関連)

－派遣留学、留学受入促進に向けた環境整備への取り組み計画等－

トピック例：

- ・海外での学習経験をカリキュラムに組み込むことについての検討状況

(記載なし)

(5) その他

－ (1) ～ (4) に該当しない、各学術院・学院・学校独自の戦略・プロジェクト等－

① 将来計画の新たな検討

2019 年度に中長期計画検討上の 3 つの重要項目、「入試広報の充実（人材確保）」「高度なカリキュラム実現」「国際化・グローバル化」を策定し、計画の推進を図ってきた。中長期計画の検討に際しては理工学術院執行部も含めた WG の運用を活発化し、具体的将来計画の立案を行い、実現に向けたステップアップを目指す。

② 教育内容の拡充のための創造理工学部建築学科・同研究科建築学専攻との連携強化

学部との授業相互提供制度および大学院への推薦制度の活用を継続、情報提供強化を積極的に行い、大学院進学者の定着を目指す。また、他専門学校にはないこれらのメリットを生かす機会を増やすため、このような学術院との連携に新たな制度（編入制度等）を加えるべく検討を継続していく。

以上